

指定都市市長会 第1回 交通・まちづくり部会

令和6年5月20日

交通・まちづくり部会の所管事項

○ 国土交通省の所管に属する事項

【参考:その他の部会の所管事項】

□ 総務・財政部会

総務省、財務省、内閣府(こども施策を除く)及び厚生労働省(こども施策を除く)の所管に属する事項並びに他の部会の所管に属しない事項

□ こども部会

内閣府(こども施策)、厚生労働省(こども施策)及び文部科学省の所管に属する事項

□ エネルギー・環境(SDGs)部会

経済産業省、農林水産省及び環境省の所管に属する事項

部会の運営方法について

- ・ 検討テーマに応じて時期、期間を設定し、調査・検討
- ・ 必要に応じて、適宜、国への要請や提言活動を実施

(例)

	令和6年度			令和7年度		
	第1回 (5月)	第2回 (7月)	第3回 (11月)	第4回 (春)	第5回 (夏)	第6回 (秋)
検討テーマ						
国への要請・提言						

The diagram illustrates the operational method of a committee. It shows a timeline from May of Reiwa 6 to Autumn of Reiwa 7. A study theme is introduced at the first meeting (May) and continues through the second (July) and third (November) meetings. At the fourth meeting (Spring), the theme is further developed, and a request/proposal is made to the government. This process continues through the fifth (Summer) and sixth (Autumn) meetings, with another request/proposal made at the sixth meeting.

検討テーマ(さいたま市提案)

地域交通におけるサービス環境の改善について

- バス路線廃止が顕在化し、また、モビリティも変化してきていることから、多様な交通モードを結節することにより、効率的かつ持続可能な交通ネットワークを構築することが必要
- 各交通モードを結節するための事業者間の連携の促進や利用者の利便性向上に寄与するスキームをいかに構築するか、また、交通結節点の整備、普及をいかに推進していくかが課題
- そのため、事業者間のモード連携や交通結節点の整備等の推進に向けた国・地方自治体による方針・枠組み、インセンティブ等を検討

検討テーマ(相模原市提案)

持続可能な地域交通の確保について

- 高齢化の進行や地理的条件などにより、地域の実情に応じた持続可能な移動手段の確保が求められている状況で、路線バス等の運行経費の増大や利用者が減少する中、国庫補助金の充当により、運行を維持・継続
- こうした中、例えば昨年創設された「エリア一括協定運行事業」については、自治体が独自に費用負担をして運行している路線なども算定方法の要素に加えるなど制度の拡充が必要
- そのため、国庫補助金の創設や拡充、補助対象要件の緩和、算出額の見直しなどについて検討

検討テーマ(新潟市提案)

「人口減少・高齢社会」と「大災害時代」のまちづくりについて

- 能登半島沖地震により、液状化現象による道路の隆起や陥没、住宅などの建物被害をはじめ、水道などライフラインや市有施設の被害など、その影響は広範囲に及び、大きな被害が発生
- 自然災害が激甚化、頻発化する中、今後より国土強靱化を継続的、安定的に推進していくためには、人口減少・高齢社会における災害に強い事前防災まちづくりの実現に、公民それぞれが取り組める支援が求められる状況
- そのため、都市型災害から市民の生命・財産を守るための、自助力向上に必要な支援策を検討

検討テーマ(京都市提案)

地域公共交通事業者の担い手確保について

- 公共交通の担い手不足は、コロナ禍以降深刻化しており、今年度、特に運転士不足を理由としたバス路線の廃止やタクシー不足により、公共交通の維持・確保が困難になっている状況
- 公共交通の担い手確保に向け、事業者においては処遇改善や積極的な採用活動が行われ、国や各自治体でも事業者支援を行っているが、公共交通の担い手総数を増やす更なる取組が課題
- そのため、事業者による効果的な担い手確保の取組の検討に加え、各自治体の支援の在り方、事業者との連携、事業者や自治体の取組が効果的なものとなるような国からの支援の強化を検討

検討テーマ(広島市提案)

新たなヒト・モノ・カネ・情報の循環を生み出す郊外駅の再生によるまちづくり

- 指定都市を中心とした経済圏の維持・発展には、特に人口減少や高齢化の影響が大きい郊外地域などにおいて、交流人口の拡大を始めとした活性化を図ることが重要
- こうした地域においては、他の交通モードとうまく連携しておらず、郊外駅が交通結節点の機能を果たしていない現状があり、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を生み出すよう再生していくことが必要
- そのためには、郊外駅周辺へ生活利便施設を集約させるとともに、交通結節点としての機能を充実させ、まちづくりと連携した交通システムを地域全体で構築する必要があることから、当該システムの在り方やその構築に係る国からの支援などについて検討

検討テーマ案

- ・ 各市からの提案にある課題認識を踏まえ、以下のとおり設定してはどうか。

検討テーマ1 災害に強いまちづくり

<論点>

- ① 自然災害が激甚化・頻発化する中、市民の生命・財産を守るために必要な支援策の検討(新潟市)

検討テーマ2 新たな「ヒト・モノ・カネ・情報」の循環を生み出す地域交通・まちづくり

<論点>

- ① 多様な交通モードの連携及び交通結節点の整備の推進に向けた国・地方自治体による方針・枠組み、インセンティブ等の検討(さいたま市)
- ② 持続可能な地域交通の確保に向けた国庫補助金の創設や拡充、補助対象要件の緩和、算出額の見直し等の検討(相模原市)
- ③ 公共交通の担い手確保に向けた各自治体の支援の在り方や、事業者との連携等に係る国からの支援の強化(京都市)
- ④ ヒト・モノ・カネ・情報の循環を生み出す、まちづくりと連携した交通システムの在り方やその構築に係る国からの支援等の検討(広島市)

検討スケジュール

令和6年5月 第1回部会		<ul style="list-style-type: none"> 検討テーマの設定
7月 第2回部会	テーマ1	<ul style="list-style-type: none"> 現状・課題の確認 「災害に強いまちづくり」について意見交換
11月 第3回部会	//	<ul style="list-style-type: none"> 論点について具体的に検討 要請・提言の方向性について検討
令和7年春 第4回部会	//	<ul style="list-style-type: none"> 要請・提言文案の確定
	テーマ2	<ul style="list-style-type: none"> 現状・課題の確認 「新たな『ヒト・モノ・カネ・情報』の循環を生み出す地域交通・まちづくり」について意見交換
夏 第5回部会	//	<ul style="list-style-type: none"> 論点について具体的に検討 要請・提言の方向性について検討
秋 第6回部会	//	<ul style="list-style-type: none"> 要請・提言文案の確定